

資料

～中学校社会科 地理的分野
単元を貫くパフォーマンス課題事例集～

令和3年度 長期研修員
五十嵐 千晴

－目次－

- ・ P 1 ～ 3 はじめに
- ・ P 4 ～ 16 パフォーマンス課題事例
 - P 4 ～ 5 世界と日本の地域構成
 - P 5 ～ 8 世界の様々な地域
 - P 9 ～ 16 日本の様々な地域
- ・ P 17 ～ 32 参考資料
 - P 18 ～ 29 アフリカ州学習指導案
 - P 30 ～ 32 アフリカ州学びナビ

ーはじめにー

現代社会は、急速な変化を遂げており、将来、予測が困難な時代になると言われています。このような社会の変化に対応するためには、物事を様々な視点から捉えたり、自分の考えをまとめて表現したり、他者と関わり合う力が必要となってきます。

しかし、これまでの課題として、「主体的に社会の形成に参画しようとする態度や、資料から読み取った情報を基にして社会的事象の特色や意味などについて比較したり関連付けたり多面的・多角的に考察したりして表現する力の育成が不十分であること」が指摘されています。国や県の課題となっている思考力、判断力、表現力や物事を多面的に捉える力を育成していくためには、課題を追究したり、解決したりする際に生徒が常に思考を働かせて課題解決に向かう授業を今まで以上に実践していくことが必要であると考えました。

そこで、本研究はパフォーマンス課題に着目し、これをはばたく群馬の指導プランⅡに示されている単元構想に取り入れ、実践を行いました。本資料集は、授業実践で使用したパフォーマンス課題のほか、地理的分野の全単元のパフォーマンス課題の事例を掲載しております。あくまでも事例であり、各学校の生徒の実態に合わせてアレンジを加え、御活用いただければと思い作成いたしました。先生方の教材研究に少しでもお役に立てれば幸いです。

1. 導入部で単元を貫くパフォーマンス課題を取り入れる理由

「はばたく群馬の指導プランⅡ」の社会科

「1 単元のつくり方」(P16)より

「つかむ」過程では、

児童生徒の課題意識から単元の課題を立てるとともに、追究の内容や方法、学習計画を明確にさせます。

「追究する」過程では、

明確な見通しのもと、各単位時間の追究活動を進め社会的事象についての「具体的な事実に関する知識」を習得させます。

「まとめる」過程では、

各単位時間で習得してきたことを比較・関連させ、単元の課題の結論としての「概念等に関する知識」を総合的に導き出させます。

と示されています。



生徒自身が、課題解決に向けてより具体的な状況をつかんで、思考を働かせるようにしたい。



- ①生徒が単元を貫いて思考・判断を繰り返す課題
- ②生徒が目標・目的を見通して解決に向かう課題
- ③生徒が状況を自覚して取り組む課題と出合わせるには・・・

「つかむ」の過程で

パフォーマンス課題を生徒と共に作り上げてみたらどうだろう

<パフォーマンス課題とは>

リアルな文脈の中で、様々な知識やスキルを応用・総合しつつ何らかの実践を行うことを求める課題

2. パフォーマンス課題の設定

～どのようにして「つかむ」過程で生徒と共に設定する？～



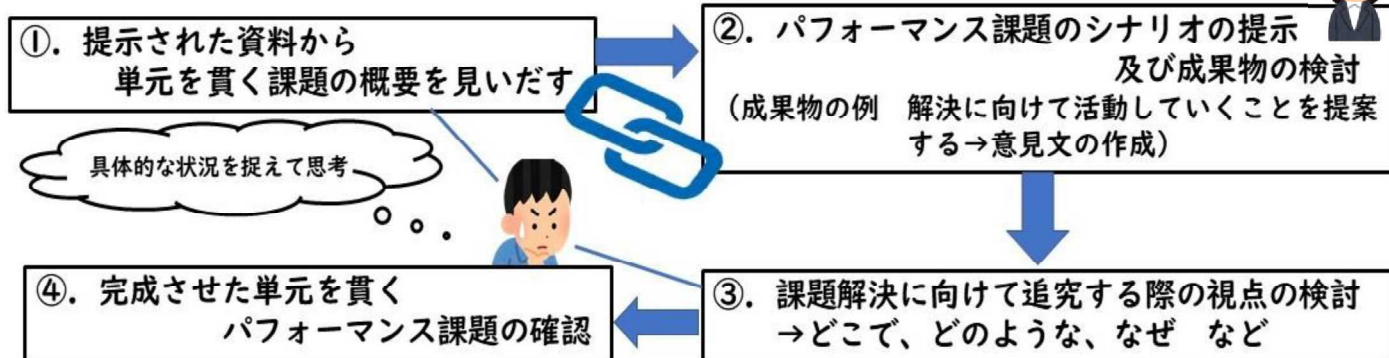
はばたく群馬の指導プランⅡ「2 単位時間のつくり方」(P18)より
「『つかむ』過程では、本単元の社会的事象に関わる児童生徒の課題意識を基に単元の課題を設定し、社会的事象を追究する必要感をもたせましょう」とあります。



そこで

パフォーマンス課題を設定する際に、課題の中に示されている場面を生徒自身が実感できるように資料を提示します。そこから、対話を通して生徒と共に単元を通して繰り返される思考の基となる追究の視点としての問いを見いだし、課題解決に向けて見通しをもてるように展開していきます。(事例集にも導入例を掲載してあります)

単元を貫くパフォーマンス課題の設定までの流れ



ここまでの流れについて、次のページでは具体的な文脈を使い、簡単に説明します。説明に出てくる「図」については、上記の「単元を貫くパフォーマンス課題の設定までの流れ」を参照してください。



3. 「追究する」「まとめる」の過程では

「追究する」過程では、「つかむ」過程で見いだした追究の視点に関わる問いを基にして思考を繰り返しながら追究活動を行い、自分の考えを形成、再構築していきます。また「まとめる」過程でもそれらの問いを基にして思考を繰り返してきたことを整理し、自分の考えをまとめていきます。



<事例集の使い方>

*図については、2ページの「単元を貫くパフォーマンス課題の設定までの流れ」を参照

I. 単元ごとに示された導入例とパフォーマンス課題のシナリオの（ ）内の太字部分より前の部分は、リンクするようにしています。実際に資料などでシナリオの文脈を生徒に実感させた後、シナリオを提示し、この課題の目的をした後、追究活動の後に生み出す成果物を検討します。（図の①、②までの流れ）

*成果物については事例を示してありますが、生徒の実態に応じて選択してください。



事例集ではこのようになっています。

③アフリカ州

1. アフリカに対する生徒のイメージは豊かでないことが予想されます。そこで、日常で使われているものがアフリカ由来であることがわかる資料を提示し、アフリカを身近に感じられるようにします。その後、貧困問題に直面していることが分かる資料を提示します。
2. 資源もあり、たくさんの農作物が作られているにもかかわらず、なぜ貧困問題に直面しているのかという疑問をもたせた上で、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



1、2がシナリオとリンクさせる学習活動。この活動後、パフォーマンス課題のシナリオの（ ）以外の部分を提示する。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

オリンピックに向けて南スーダンの選手団が前橋市で合宿を行い、前橋市の住民を中心に、群馬県民とも交流をしていました。そこで、アフリカについて知らなかったあなたがアフリカについて調べてみると、生活で使っているものがアフリカと結び付いていることを知り、より身近に感じることができました。しかし、同時にアフリカ州が貧困問題に直面していることを知りました。そして、自分たちにも何かできることはないかと思い、活動をしたいと考えました。**（貧困によってどのような問題が起きているのか、何が原因となっているのか、それを解決するためには、どのようなことを行っていけばよいのかをまとめ）**できるだけ多くの人に関心をもって協力してくれるように【意見文を作成して】提案してください。



II. シナリオが提示され、学習の最後に取り組む活動が見えたところで、課題解決に向けて思考を繰り返す基となる問いを見いだします。つまり（ ）内の文脈を生徒に検討させます。（図の③）



III. 最後に③で見いだした問いを（ ）に当てはめて共有し、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。（図の④）

A 世界と日本の地域構成

(1) 地域構成

①世界の地域構成

1. 地図帳の世界地図を使い、隣の人に日本の位置や特徴を説明する場面を設定します。位置を説明する際に、直接、指などでその場所を指して位置を示すことが予想されます。
2. 指差しなどの直接的に位置を示す方法以外のことを検討させた後、() 内以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後() に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

あなたは中学一年生です。社会科の授業で先生がいくつかの国名が入った世界地図を広げました。地図で示された国は聞いたことがある国ばかりです。その後、先生が「担当になった国の位置や特徴を説明してください。道具は何を使ってもよいですが、位置の説明については、指などで直接その場所を指して説明する以外の方法を考えてください。」と言いました。(どのようなものを使って、どのような表し方があり、どのようにその国の位置を表せばよいのでしょうか) 考えたことを基にいくつかの国を取り上げ、【報告書を作成して】説明してください。

②日本の地域構成

☆時差と領域の範囲や変化とその特色についてのパフォーマンス課題の事例

A 時差

1. 地球儀を使い、日本が日中、夜間になっている地域をつかませます。
2. 日本で日中に行っていた仕事をそのまま引き継ぐにはどこの国に会社の支店を置けばよいかを検討させた後、() 内以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後() に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

あなたはIT企業〇〇会社の社員です。この度、海外に支店を作ることになりました。社内会議で今、どこに支店を作るか検討しています。社長の要望は、「作業を止めることなく、我が社のサービスを提供していきたい。」という内容でした。時差を上手に利用して、昼間の仕事をそのまま引き継ぐには、どこが一番よい場所なのでしょう。(どのくらいの時差があるのか、なぜその場所が一番よいのか) 検討して、【スライドを作成して】提案してください。

イ 領域の範囲や変化とその特色

1. 既習事項の国境について確認し、日本の範囲はどこからどこまでなのかを予想させます。
2. 白地図に予想した範囲を記入させた後、（ ）内以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

国境について学習をしたあなたは、山や川などの自然地形が国境になっていたり、緯線や経線といったまっすぐな線に沿って国境が決められていたりしていることを知りました。それと同時に、日本の範囲について気になりはじめました。ほかの国々と違い、日本は周りを海で囲まれた島国です。（日本の範囲とはどのようなになっているのでしょうか。）調査した結果を【ポスターにまとめて】説明してください。

B 世界の様々な地域

（1）世界各地の人々の生活と環境

1. 景観写真や生活の様子を複数枚準備し、それがどこの地域のものに当たるのかを検討し、略地図上に記入させ、なぜそのように予想したのか理由を検討させます。
2. 自分が予想した理由が曖昧であることに気付かせた後、（ ）以外の部分を提示します。
3. 事実に基づいた説明が必要であることに気付かせた上で、どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

あなたは中学一年生です。「一年生では主に世界の勉強をするよ。」と教科書を見せながら、小学生に話をしていました。すると、小学生の太郎君から「どうしてみんな着ているものが違うの？」花子さんからは「家もいろいろあるね。」次郎君からは「食べているものが違うよ。」と言われ、三人から「どうしてこんなに違いがあるの？」と質問されました。しかし、あなたはなんとなくしか答えることができませんでした。（世界の人々の生活が、どのようなになっているのか、なぜそのような生活がみられるのかなど）世界の人々の生活について説明するために三人が興味をもったことはどのようなことだったのか思い出しながら【原稿を作成して】説明してください。

（2）世界の諸地域

学習指導要領では、（2）の内容の取扱いにおいて、「特徴的に見られる地球的課題と関連付けて取り上げること」とあります。今回の事例においては、各州の地球的課題を以下のように設定しました。

州	地球的課題
アジア州	経済成長に伴う課題
ヨーロッパ州	地域統合に伴う課題（経済格差）
アフリカ州	貧困問題に伴う課題
北アメリカ州	生産と消費に伴う課題
南アメリカ州	熱帯林の破壊に伴う課題（地球環境問題）
オセアニア州	多文化社会に伴う課題

①アジア州

1. アジア州を大観し、それぞれの地域の特色をつかませます。その後、各地域の生活の様子や都市の様子などの写真から、どのような地域的な特色があり、発展してきているのだろうかという疑問をもたせます。
2. 最も魅力的に感じられる地域をそれぞれ検討した後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

あなたは、日本のある企業の社員です。あなたの会社では、近年、急速に経済的な発展を遂げているアジア州の地域に新たに進出することになり、どの地域に進出すべきか社内で検討しています。アジア州はとても広く、地域によって特徴があり、各地域はそれぞれ魅力をもっています。急成長を遂げている地域なので、魅力もあれば課題もあります。あなたは次の社内会議で、それらを調査した上で、どの地域に進出することがよいかを提案する役割を任せられました。（そこがどのような地域なのか、なぜその地域を選んだのか、これからどのようなことが期待されると考えられるのか）他の社員が納得するように【提案書を作成して】提案してください。

②ヨーロッパ州

1. EU統合によるメリット(パスポートなしの移動や共通通貨ユーロ)を一部紹介し、まず統合のメリットに焦点を当てます。その後、イギリスがEU離脱の道を選択したことに触れ、たくさんのメリットがあるにもかかわらず、なぜ離脱の道を選択したのだろうかという疑問点をもたせます。
2. EU加盟と離脱の双方の主張の資料から、どちらの主張に自分の考えが近いのかを検討させた後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

あなたは、ヨーロッパにあるA国の国民です。A国はEUに加盟しています。ところが、イギリスがEUを離脱したことにより、ここ最近、国民の間でもEUから離脱した方がよいのではないだろうかという意見も出るようになりました。あなたの住んでいる町でも「このままの状態でもいい」「いや離脱すべきだ」と住民の意見が出ています。二つの意見が対立しているだけでは、何も解決しません。そこで、あなた自身もこの問題を深く考えなくてはと思い始め、どのようにすれば、ヨーロッパの国々がよりよい地域になっていくかを考え、伝えたいと考えるようになりました。（EUとはどのようなものなのか、なぜ二つの意見が出てきてしまうのか、これからどのようになるとよいのか）あなたの意見を【スライドにまとめて】発表してください。

③アフリカ州

1. アフリカに対する生徒のイメージは豊かでないことが予想されます。そこで、日常で使われているものがアフリカ由来であることが分かる資料を提示し、アフリカを身近に感じられるようにします。その後、貧困問題に直面していることが分かる資料を提示します。
2. 資源もあり、たくさんの農作物が作られているにもかかわらず、なぜ貧困問題に直面しているのかという疑問をもたせた上で、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

オリンピックに向けて南スーダンの選手団が前橋市で合宿を行い、前橋市の住民を中心に、群馬県民とも交流をしていました。そこで、アフリカについて知らなかったあなたがアフリカについて調べてみると、生活で使っているものがアフリカと結び付いていることを知り、より身近に感じることができました。しかし、同時にアフリカ州が貧困問題に直面していることを知りました。そして、自分たちにも何かできることはないかと思い、活動をしたいと考えました。（**貧困によってどのような問題が起きているのか、何が原因となっているのか、それを解決するためには、どのようなことを行っていけばよいのかをまとめ**）できるだけ多くの人に関心をもって協力してくれるように【意見文を作成して】提案してください。

④北アメリカ州

1. アメリカに進出している芸能人やスポーツ選手のニュース、アメリカに本社を置く企業のロゴマークなどを提示し、そのほかにも日常の場面でアメリカを身近に感じられるものを検討させ、アメリカのイメージを共有させます。
2. その後、なぜアメリカは世界に影響を与え続けているのか、その理由を考察させ、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

あなたの友人が、アメリカに留学することになりました。その理由を聞くと「世界をリードする国だと思うし、その理由を知りたいから。」とのことでした。たしかに、身の回りには、アメリカに本社を置く会社の商品があふれていますし、芸能人やスポーツ選手もアメリカへ進出するというニュースもよく聞きます。あなたはアメリカに興味をもちはじめ、いつか自分も行ってみたいと思うようになりました。そのような時に、短期留学の応募のチラシを目にしました。応募するには、自分がアメリカに行きたい理由やこれからどのような関わりが必要とされてくるのかという内容を含んだスピーチをすることが条件の一つになっています。（**アメリカとはどのような国なのか、なぜアメリカは世界に影響を及ぼすのか、この先どのような関わりが必要とされてくるのか**）あなたの考えをまとめ、【スピーチ用の原稿を作成して】スピーチをしてください。

⑤南アメリカ州

1. アマゾンに広がる熱帯林の過去と現在の航空写真を比較し、熱帯林の中に見られる魚の骨のように伸びた筋は何なのか、また写真のような変化はなぜ起きたのかを考察させます。
2. 変化の理由が熱帯林の伐採であることを踏まえ、開発を進めるべきか、否かを検討させた上で、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

近年、地球温暖化の問題が様々なところで議論されています。ある日、あなたは一枚の写真を目にしました。それは「地球の肺」と呼ばれているアマゾンの熱帯林の航空写真です。しかし、その写真を見ると、緑の中に魚の骨のように薄くなっているところがあり、気になって調べてみると、熱帯林が伐採された跡であることを知りました。開発が進んだのには理由があります。しかし、このまま開発が進んでいくと熱帯林は破壊されていきます。**（アマゾンではどのようなことが行われているのか、なぜアマゾン熱帯林伐採の問題が起きたのか、これからどのようにしていけばよいのか）**この課題について調べたことを基にして、これからの開発の在り方について考えたことを【意見文を作成して】発表してください。

⑥オセアニア州

1. オセアニア州の国々の国旗を提示し、どのような国とのつながりがあるのかを予想させます。
2. その後、オーストラリアを訪れる観光客数や、貿易相手国を示す資料を提示しアジアとのつながりが大きくなってきていることに気付かせ、どのような地域なのかを踏まえ、その理由を検討させた後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

あなたが住む市では毎年、オーストラリアへの海外派遣事業が実施されています。ALTの先生もオーストラリア出身で、オーストラリアを身近に感じるようになり、海外派遣事業に参加したいと考えました。そこで、事前学習としてオーストラリアについて調査し、オーストラリアと日本や他地域との関わりについてプレゼンテーションをすることになりました。オーストラリアをはじめとするオセアニア州にある国の国旗には、イギリスの国旗が描かれている国がたくさんあるので、イギリスやその他のヨーロッパの国々とのつながりが深いのではないかと思います。が、アジアとの交流も盛んになってきているようです。**（オーストラリアは、どのように他地域との関わりをもってきたのか、なぜ変化をしてきているのか、今後どのような交流が考えられるか）**調査した結果を踏まえて【スライドを作成して】プレゼンテーションしてください。

C 日本の様々な地域

(1) 地域調査の手法

1. 学校区では、緊急避難場所としてどのような場所が設定されているのかを共有します。その後、自分の家から避難場所までのルートを検討させ、そこが本当に安全なルートなのか話し合わせます。多くの生徒にとって避難場所は知っていても、ルートの安全性までは検討できていないことが予想されます。
2. その後、東日本大震災時の東北地方の中学生の行った行動を紹介し、自分たちの実態と比較し、地域について知る必要性を高めた上で（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

先日、地域の方も含めた防災訓練がありました。あなたの中学校は、災害時の緊急避難場所に指定されています。あなたは、そのことを知っていましたが、どのような災害発生の恐れがあるのか、また、今現在どのような防災の取組があるのかあまりよく分かっていません。東日本大震災の時には、中学生の行動が多くの人の助けとなったという話を聞き、いざというときには、自分の身の安全を確保するとともに、地域のためにも役に立ちたいと考えました。そこで、あなたのクラスでは、地域の調査をすることになりました。（自分たちの住む地域はどのような地域なのか、現在はどのような取組が行われているのか、どのようなことができるのか）調査方法をグループで検討した後、調査に取り掛かり、調査結果や提案を含めて【ポスターを作成して】発表してください。

(2) 日本の地域的特色と地域区分

学習指導要領では、この中項目は、「①自然環境」「②人口」「③資源・エネルギーと産業」「④交通・通信」の四つの項目からなる小項目で構成されており、分布や地域などに関わる視点に着目して、我が国の国土の地域区分や、区分された地域の地域的特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することをねらいとしています。そのため、四つの項目からなる小項目ごとにパフォーマンス課題を事例として作成しました。

なお、(2)の内容の取扱いにおいて「①から④までで示した日本の地域的特色については、系統的に理解を深めるための基本的な事柄で構成すること」とある。また、この中項目で身に付けたい「思考力・判断力・表現力等」関わる事項について、「日本の地域的特色を、①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること」が挙げられており、このことについては、「①から④までの項目に関する学習によって作成された複数の分布図や地域区分を重ね合わせて関連付け、複数の項目による新たな地域区分を行い、そこで見いだされた地域の意味を多面的・多角的に考察し、地域的特色を表現できるようにすることを意味している」とあるため、パフォーマンス課題の成果物として分布図などを取り入れたスライドの形でまとめることに統一しました。



①自然環境

1. ニュース映像や、自然災害の写真と日本地図を提示します。これらの自然災害はどのような場所で起きたものなのかを検討させ、その理由を考えさせます。
2. 災害に対しての対策の一例を示す資料を提示した後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

ある日、留学生の友達とテレビを見ていたら地震速報が入りました。つい最近、大雨による洪水のニュースも見ました。留学生の友達に、「なぜ日本は地震や洪水がたくさん発生するの？」と質問をされましたが、その理由が分かりません。せっかく日本のことを知りたいと考えているので、その理由を教えてあげたいと思いました。「日本は災害が多い」という印象だけではなく、いざというときには、どのような対策が取られているのかも教えてあげたいとも思いました。そこで、あなたは（どのような特色があるのか、なぜ災害が起きやすいのか、よりよく生活していくためには、どのような取組が必要なのか）日本の自然環境の特色の分布図を作成し、【スライドにして】まとめてみることにしました。

②人口

1. 群馬県の人口密度を示した主題図や学校所在地の市町村の人口ピラミッドの変遷を通して、どのような特徴があり、なぜそのような状況になっているのか検討させます。
2. 日本全体の人口と、分布について予想した後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

留学生に学校の説明をしていると、留学生が空き教室がいくつかあることに気づき、「この教室は何をする教室なの？」と質問をしてきました。そこへ校長先生がやってきて昔はクラス数がこの倍以上あったことを教えてくれました。そこで、あなたたちは〇〇市の人口ピラミッドの変遷を調べてみると、ある特徴に気付くと同時に、クラス数が減っている原因と関係しているのではないかと考えました。すると、留学生が「群馬県全体はどのようなになっているのかな？日本全体も同じようなことが起こっているのかな？」と聞いてきたので、それらの場所はどのような特徴があるのか考えてみました。日本全体を考えるとどのようなになっているのでしょうか。（日本の人口の変化や分布はどのようなになっているのか、なぜそのような状況になっているのか、今後どのようなことが予想されるのか）日本の人口の変化や、人口分布の特色を整理し、【スライドにして】まとめてみることにしました。

③資源・エネルギーと産業

1. 人口分布の学習を振り返らせ、都市に人口が集中する理由を確認します。
2. 第一次産業、第二次産業、第三次産業の写真を提示し、それぞれがどの辺りで盛んなのかを検討し、予想したことを共有した後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

人口の学習を終えたあなたは、都市に人口が集中する理由の一つに、仕事を求めて人々が移動するためということが分かりました。すると、留学生の友達が、「東京にはどのような仕事があって人々は移動するのかな。あなたのお姉さんも東京で仕事をしているよね。群馬と比べると違いはあるの？東京以外のところはどのような産業が盛んなのかな。」と言いました。日本の産業の特色はどのようになっているのでしょうか。（どのような産業が、どのようなところで盛んなのか、またなぜその地域で盛んなのか）日本の産業の特色や、分布を整理し、これからの日本の産業はどのようになっているのか検討したことを【スライドにして】まとめてみることにしました。

④交通・通信

1. 日本と海外の移動時間、日本国内での移動時間の変化を示す資料を提示します。
2. 変化の背景にはどのようなことがあるのか予想し、どのようなところで交通網が発達しているのかを検討させます。共有した後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）にあてはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。

<単元を貫くパフォーマンス課題>

留学生が「大阪に行きたいのだけど、どのくらい時間がかかるの？」とあなたに聞いてきました。「新幹線だと東京から2時間半くらいかな。」と話していると、祖父が「新幹線ができた頃は、その倍くらい時間がかかっていたよ。」と教えてくれました。便利な世の中になっているなとあなたは思っていたが、「新幹線があるところはいいけど、ないところはどのようになっているの？」と留学生が質問をしてきました。その言葉を聞いたあなたは、（どのようなところで交通網の整備が進んでいるのか、なぜそれらの地域では、交通網の整備が進んでいるのか、発達しているところとしていないところの違いによってどのようなことが起きているのか）日本の交通・通信の特色や分布を整理し、検討したことや、地域によって違いが出ることに課題はないのかを考えて【スライドにして】まとめてみることにしました。

(3) 日本の諸地域

学習指導要領では、(3)の内容の取扱いにおいて「学習する地域ごとに①～⑤までの考察の仕方を一つ選択すること」とあります。今回の事例においては、各地域の考察の仕方を以下のよう設定しています。

地域	考察の仕方
九州地方	①自然環境を中核とした考察の仕方
中国・四国地方	④交通や通信を中核とした考察の仕方
近畿地方	⑤その他の事象を中核とした考察の仕方（環境保全）
中部地方	③産業を中核とした考察の仕方
関東地方	②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方
東北地方	⑤その他の事象を中核とした考察の仕方（生活文化）
北海道地方	①自然環境を中核とした考察の仕方

①九州地方

1. 九州地方の自然環境（奄美大島の自然、屋久島の自然、桜島）や集中豪雨のニュース映像を提示して大観します。
2. 自然環境が人々の生活にどのような影響を与えるのかメリット、デメリットについて考察させた後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

社会科の授業の中で、自然環境が人々に与える影響をテーマにした発表会をすることになり、あなたは九州地方の担当として、発表することになりました。2021年7月、奄美大島、沖縄などが新たに世界自然遺産に登録され注目されています。既に、鹿児島県にある屋久島も登録されていたり、別府温泉など日本有数の温泉地もあったりと、九州地方は魅力的な自然環境がたくさんあります。その一方で近年、集中豪雨などのニュースでよく目にする地域でもあります。九州地方について調べたことを基に、（どのような自然環境があり、どのような関わりがあるのか、それらがどのような影響を与えるのか、どのように関わっていくことが大切なのか）人々が自然環境と共存していくためのこれからの生活の在り方について【スピーチ原稿にまとめ】発表してください。

②中国・四国地方

1. 中国・四国地方を大観し、本州四国連絡橋の開通によるメリットやフェリーの減便などを示す資料からデメリットについて考察させます。
2. 交通網の整備によってどのような影響があるのかを検討した上で、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



＜単元を貫くパフォーマンス課題＞

「本州四国連絡橋を考える会」のメンバーにあなたは選ばれました。この橋の開通によって、様々な変化が起きているようです。今回、このような会議が開かれた背景には「地域の活性化」について問題点があると、議長に言われました。本州と四国が結ばれたのだから、活性化につながっているだろうとあなたは考えていましたが、「でも・・・」と異論を唱えるメンバーもいます。橋の開通の影響をあなたはメンバーとしてメリット、デメリットを踏まえて、考えなければなりません。（どこで、どのような変化をもたらしたのか、地域を活性化するために今後どのような取組をしていく必要があるのか）調べた結果を踏まえて、地域活性化のための【提案文を作成して】提案をしてください。

③近畿地方

1. 近畿地方を大観した後、琵琶湖、阪神工業地帯、京都の町並みなどの過去と現在の写真を提示し、その違いに気付かせます。
2. なぜそのような変化が起きたのかを考察させた後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



＜単元を貫くパフォーマンス課題＞

来年、奈良・京都へ修学旅行へ行くあなたは、近畿地方について調べて発表することになりました。ニュースで府知事が着ているポロシャツのマークが気になっていたところ、2025年大阪で万博が開催されることが分かり、調べてみると、テーマが「命輝く未来社会のデザイン」とありました。それとともに、「持続可能性に取り組む万博」と書いてありました。「SDGs」のマークも最近よく見ます。更に近畿地方の情報を集めてみると、数枚の写真から、昔の近畿地方の様子と、現在の様子から環境の変化に気付きました。日本で開催される万博のテーマは、『未来社会のデザイン』です。（どこで、なぜ、変化が起こったのか、これまでどのような取組が行われたか、これからどのようなことをしていけばよいのか）これからの未来に向けての私たちの生活の在り方について、考えたことを【スライドにまとめて】発表してください。

④中部地方

1. 中部地方を大観した後、雨温図を示し地方ごとの特徴をつかませます。その後、世界の諸地域の学習を振り返り、気候の違いにより、産業や生活の様子が違っていたことを想起させます。
2. 1を踏まえて、どのような産業が発達しているのか考察させた上で、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

「日本を地方別に紹介しよう」という課題が出ました。あなたの担当は中部地方です。中部地方の特徴とは何かを考えたときに、以前、日本の気候の学習で出てきた松本市、名古屋市、上越市がいずれも中部地方にあることに気付きました。また、世界の学習をしてきたあなたは、その地域の産業や人々の生活の様子に違いが表れる理由の一つとして、気候の違いがあることを思い出し、同じ中部地方でも、気候の違いから地域によって発達している産業に違いがあるのではないかと思います、産業を中心に紹介してみようと考えました。しかし、どのような産業が発展しているのかあなたにはなんとなくのイメージしかありません。（どの地域で、どのような産業が、なぜ発達しているのか、今後の発展のためにはどのようなことが大切か）産業について調査した結果をまとめて【報告書を作成して】発表してください。ただし、発表の際【報告書にまとめる】にはどこか一つの地域を選ぶこととします。

⑤関東地方

1. 関東地方を大観した後、東京について人口が集中している様子が分かる資料を提示し、「なぜ人が集まるのか」その理由を予想させます。
2. 人が集まることによって課題となりそうなことを考察させた上で、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

あなたは、「みらいをつくる子ども会議」のメンバーの群馬県代表として選ばれ、「世界都市TOKYOをアピールする」をテーマにプレゼンテーションをすることになりました。話し合いの中では、「東京にたくさんの方が集まる理由を説明に入れて魅力を伝えよう。」という意見が出ましたが、その一方で、「人が集まりすぎることによる問題点もあるのでは？」という意見も出ました。課題となることを解消できれば、より世界都市としての東京の魅力をアピールできるのではないかとあなたは考えました。東京の問題点を解消し、より魅力をアピールするためにはどうしたらよいでしょう。（どのような理由で人が集まるのか、なぜ課題が発生するのか、どのようなことをしたら課題を解消できるのか、これからますます発展していくためにはどのようなことが必要か）調査したことや検討したことをまとめ、【スライドを作成して】プレゼンテーションの準備をしてください。

⑥東北地方

1. 東北地方を大観した後、東北地方について知っていることなどを共有します。
2. 祭りの写真を提示し、これらの祭りに込められた願いや人々の生活との関わりを考察させた後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



＜単元を貫くパフォーマンス課題＞

東京2020オリンピックは、「復興五輪」ともいわれており、メダリストへのブーケは東北地方で栽培された花が使われていました。復興が進む東北地方についてその魅力を世界中の人に発信するプロジェクトの手伝いをあなたは依頼されました。あなたは東北地方について「有名なお祭りがある」ということや、「果物の栽培が盛んだ」ということは知っていますが、魅力を発信するためには、更に東北地方について知る必要があると思い、東北地方の調査をすることにしました。その中で、日本らしさをアピールするために「祭」にも着目しました。東北地方の特色や（どのような地域なのか、なぜこのような文化が生まれたのか、現在どのような取組がされているのか、今後どのような取組をしていけば東北地方の魅力を伝えていけるのか）、アピールポイントを【ポスターを作成して】まとめてください。

⑦北海道地方

1. 北海道を大観した後、魅力度ランキングを提示し、なぜ、北海道は多くの人が魅力を感じているのかを考察させます。
2. 旅行のパフレットなどを収集させ、どのようなツアーが人気なのか特色をつかませ、自然環境に着目させた後、（ ）以外の部分を提示します。
3. どのような追究の視点をもてばよいかを検討し、共有した後（ ）に当てはめ、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させます。【 】内の成果物も検討させます。



＜単元を貫くパフォーマンス課題＞

あなたは旅行会社の社員です。今回あなたは、新しいツアーを企画するために、次の会議で各都道府県の魅力についてプレゼンテーションすることになり、北海道を担当することになりました。北海道以外にも魅力度ランキングで上位に入っている他の都道府県にもたくさんの魅力があり、ほかの社員はライバルです。そこであなたは、ほかにはない北海道の魅力をアピールしたいと考えています。そのためには、北海道を十分に知る必要があります。（北海道とはどのようなところなのか、なぜ多くの人から魅力を感じてもらえるのか、どのようなツアーが必要とされてくるのか）調査を基に検討した結果を【報告書を作成して】まとめてください。

(4) 地域の在り方

学習指導要領では、この中項目は空間的相互依存作用、地域などに関わる視点に着目して、地域の在り方を地域的特色や地域の課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することを主なねらいとしており、そうした学習の全体を通して、課題解決の取組や課題解決に向けて構想したことを適切に表現する手法を理解できるようにすることが求められています。

また、既習の知識、概念や技能を生かすとともに、地域の課題を見だし、考察するなどの社会参画の視点を取り入れた探究的な地理的分野の学習のまとめとして行うことが必要とされています。地域の在り方を考えていく対象の地域の選定については、学校が所在する市区町村、都道府県、姉妹都市、修学旅行などで訪れる都市などが対象として考えられますが、本事例においては、市区町村としました。

1. これまでどのような追究の視点をもって日本の各地域における課題を追究してきたのかを振り返るとともに「持続可能な社会に向けて」どのようなことを考えてきたのかを意識させます。
2. その上で、「これからの〇〇市が発展するためには、どのような取組が必要か」を検討し、テーマを決めて追究活動へとつなげていきます。



<単元を貫くパフォーマンス課題>

今年の文化祭で、グループごとに「提言、私たちの〇〇市の未来に向けて」をテーマにポスターを作り、発表することになりました。これまで、社会科の地理の学習で日本の各地域において課題を追究してきました。その学習の成果を生かし、持続可能な社会に向けて構想したことを発表しましょう。なお、内容については各グループで検討してください。ポスターの項立ては以下の通りとします。

1. 調査の動機と目的
2. 調査の方法
3. 調査の内容と結果の考察
4. 課題解決に向けた構想
5. まとめと感想
6. 参考資料



参考資料

1. アフリカ州学習指導案
2. アフリカ州学びナビ
 - ①使い方説明
 - ②生徒配布用
 - ③意見文ルーブリック

社会科学学習指導案

令和〇年〇月 第1学年 指導者 五十嵐 千晴

1 単元名 世界の諸地域 アフリカ州

2 考察

(1) 教材観

本単元は中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編、地理的分野B「世界の様々な地域」の（2）「世界の諸地域」に位置づけられており、「①アジア」「②ヨーロッパ」「③アフリカ」「④アメリカ」「⑤南アメリカ」「⑥オセアニア」の六つの州からなる小項目で構成されている。「世界の諸地域」では、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて現れ方が異なることを理解するとともに、人々の生活を基に地域的特色を大観し理解することや、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現することをねらいとしている。このうち、地球的課題については、グローバル化する国際社会において人類全体で取り組まなければならない課題、例えば持続可能な開発目標（SDGs）などに示された課題のうちから生徒が地理的な事象として捉えやすい課題を取り上げることとしている。また、世界各地に見られる地球的課題は地球上の各地で現れる普遍的な課題であるが、各地域の地域的特色を反映させてその要因や影響、対処の仕方などが異なっているとしている。

そこで、今回学習する「アフリカ州」については、貧困問題を地球的課題として取り上げ、地域的特色と関連付けながらその要因や影響について多面的・多角的に考察し、課題解決に向けてどのような支援ができるかという視点も含めて考察し、理解を深めさせたい。

(2) 指導方針

- ・見通しをもって学習に取り組み、課題解決力を高められるように、「つかむ」過程で単元を貫くパフォーマンス課題を生徒と共に設定する。その際、より現実感や必要感をもてるように資料提示することで、生徒がその課題と関連付けた問いを見いだしたり、解決に向かう意欲を高めたりすることができるよう場面設定を行う。
- ・課題解決力を高めるために、追究の場面では、「つかむ」過程で見いだされた追究の視点となる問いを確認した上で追究活動に向かわせる。
- ・自己の学びを整理すると同時に、他の視点からの見方や考え方にも気付かせるために、情報共有の場を1単位時間の中でも設定する。
- ・自己の考えを根拠をもって整理できるように、学びナビを利用し、思考の過程を可視化させる。
- ・1単位時間のまとめとして学びナビに記述した自分の考えを課題解決ステップアップシートに照らし合わせて自己の課題解決力を確認させる。
- ・学習のまとめとして、学びナビを活用し、それまで学習してきた内容を関連付けて、それを根拠としてパフォーマンス課題に取り組む。

3 研究との関わり

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編の改訂の趣旨及び要点において、これまでの成果と課題として「主体的に社会の形成に参画しようとする態度や、資料から読み取った情報を基にして社会的事象の特色や意味などについて比較したり関連付けたり多面的・多角的に考察したりして表現する力の育成が不十分であること」が指摘されている。本県でも、第3期群馬県教育振興基本計画の基本施策2において「確かな学力の育成」が掲げられており、施策の柱4に示された現状と課題では、「必要な情報を取り出して自分の考えを述べたり、考えた方法や理由を説明したりすることには、課題が見られます」とある。また、取組の方向には、「生徒の思考力、判断力、表現力や読解力、物事を多面的に捉

える力、学習を日常生活と結び付ける力などを育成する」と示されている。国や県の課題となっているこれらの力を育成していくためには、課題を追究したり、解決したりする活動を取り入れた授業を今まで以上に実践していくことが必要である。

そこで、はばたく群馬の指導プランⅡに示されている単元構想の「つかむ」過程において、自分たちで解決するという現実感のあるパフォーマンス課題の文脈を生徒と共に練り上げる場面を設定し、単元を貫くパフォーマンス課題として位置付け、「追究する」「まとめる」過程では、課題解決に向けて追究し、自己の考えを形成、再構築していく単元構想とした。この単元構想によって生徒に今まで以上に当事者意識が働き、より具体的な状況で思考を働かせながら課題解決に向かうことができるため、事象を捉え、理由を考察し、それらを基にして自分の考えを形成していくこととなり、課題解決力の向上につながるのではないかと考えた。さらに、「学びナビ」というシートを活用し、1単位時間における思考の過程を可視化することで、思考をつなぐことに加え、深めていくことにもつながると考えた。

このように、単元構想を工夫することや「学びナビ」を活用することが、生徒が思考を繰り返しながら、課題解決力を高める手立てとして有効であるかを、中学校社会科における地理的分野において検証していきたいと考える。

4 単元の目標

- ・アフリカ州の地域的特色に関する資料を収集して、有用な情報を適切に選択し、その特色や地域の課題を読み取り、理解する。（知識・技能）
- ・アフリカ州に見られる地球的課題（貧困問題）の要因について地域の広がりや結び付きなどに着目してそれらの地域的な特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。（思考力・判断力・表現力）
- ・アフリカ州についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる貧困問題に関する課題を主体的に追究しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

5 指導と評価の計画（全4時間予定）

評価の観点の「○」は評定に用いる評価、「●」は指導にいかす評価として記載

評価 規 準	知識・技能	アフリカ州の地域的特色に関する資料を収集して有用な情報を選択し、その特色や地域の課題を読み取り、理解している。				
	思考・判断・表現	アフリカ州に見られる地球的課題（貧困問題）の要因について地域の広がりや結び付きなどに着目して、それらの地域的な特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。				
	主体的に学習に取り組む態度	アフリカ州についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる貧困問題に関する課題を主体的に追究し、解決しようとしている。				
時程 (次)	過 程	学習活動	評価の観点			評価規準、評価方法等
			知	思	態	
第1時	つかむ	[本時の学習課題] アフリカ州について特徴をつかみ学習課題を立てよう ・日本とアフリカ州の交流や、生活の中で使われているものがアフリカ州で産出されている資源や材料を使っているものを示す資料を提示し、アフリカ州を身近に感じる。 ・アフリカ州の鉱山資源の分布や輸出品を示す資料と、栄養度や平均寿命などを示				

		す資料からアフリカ州はどのような地域か考察する。 ・二つの活動を基に、単元を貫くパフォーマンス課題を生徒と共に設定する。			
【単元を貫くパフォーマンス課題】 オリンピックに向けて南スーダンの選手団が前橋市で合宿を行い、前橋市の住民を中心に、群馬県民とも交流をしていました。そこで、アフリカについて知らなかったあなたがアフリカについて調べてみると、生活で使っているものがアフリカと結び付いていることを知り、より身近に感じることができました。しかし、同時にアフリカ州が貧困問題に直面していることを知りました。前橋市での取組を知ったことをきっかけに自分たちにも何かできることはないだろうかと考えました。(貧困によってどのような問題が起きているのか、何が原因となっているのか、それを解決するためには、どのようなことを行なっていけばよいかをまとめ)できるだけ多くの人が関心をもって協力してくれるように【意見文を作成】提案してください。					
		・【 】内の成果物について検討する。 ・課題を解くために（ ）に当てはまる必要な情報は何かを検討し、追究の視点となる問い、見通しを共有し、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させる。 ・どのようなことをしたらよいのか解決策を検討する。		●	〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・アフリカ州の地域的特色に関する資料から疑問をもち、単元を貫くパフォーマンス課題を設定し学習課題を解決する見通しをもっている。(観察・ワークシート・学びナビ)
第2時	追究する	【本時の学習課題】 なぜアフリカ州が貧困の問題を抱えているのか、自然環境や歴史から迫ってみよう ・アフリカ州の自然環境の特色やヨーロッパ州とのつながりを資料から読み取る。 ・アフリカ州の中でも特にどのような地域で貧困の問題が表れているのか自然環境と関連付けて考察する。 ・ヨーロッパ州とのつながりを植民地支配の歴史と関連付けて考察する。 ・考察したことをキーワードを使って整理し、学びナビにまとめる。	○	●	〔知・技〕 ・自然環境や、ヨーロッパ州とのつながりを資料から読み取り、地域的特色や課題を理解している。(ワークシート) 〔思・判・表〕 ・自然環境の特色や歴史的背景から貧困の要因を多面的・多角的に考察している。(ワークシート・学びナビ)
第3時		【本時の学習課題】 なぜアフリカ州が貧困の問題を抱えているのか、産業の特色から迫ってみよう ・プランテーション農業やモノカルチャー経済など産業の特色を、資料から読み取る。 ・モノカルチャー経済における課題について考察したことを学びナビを使って整理し、学びナビにまとめる。	○	●	〔知・技〕 ・モノカルチャー経済などの産業の特色や課題を資料から読み取り、理解している。(ワークシート) 〔思・判・表〕 ・産業の特色と貧困の要因を結び付けて考察している。(ワークシート・学びナビ)

第4時		【本時の学習課題】 学びナビを活用して、意見文を完成させよう ・アフリカ州が抱える貧困の問題や、解決に向けての取組について、学びナビを基にして、振り返りながら意見文を作成する。	○ ○	〔思・判・表〕 ・アフリカ州に見られる地球的課題（貧困問題）の要因について地域の広がりや結び付きなどに着目してそれらの地域的な特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。（学びナビ・意見文） 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・アフリカ州について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。（観察・学びナビ）
-----	--	--	-----	--

6 本時の展開（1／4）

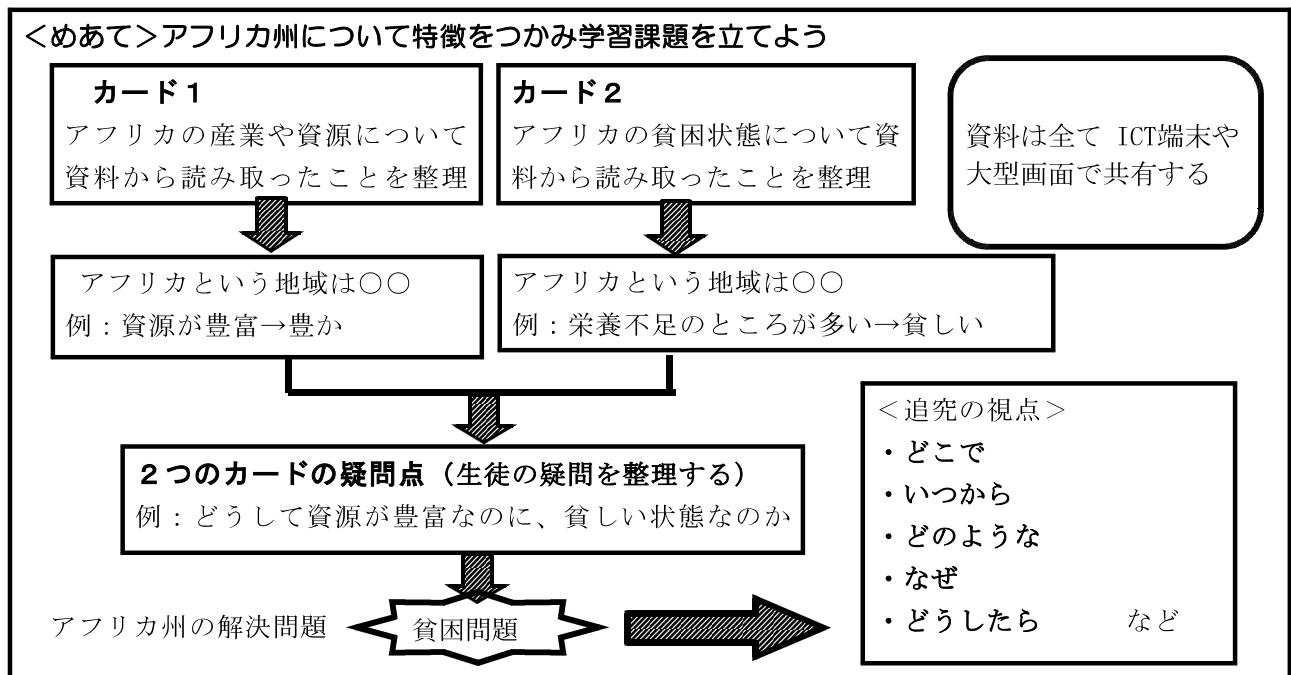
- (1) **ねらい** 資料を読み取る中で、アフリカ州について関心を高め、アフリカ州が抱える課題について理解するとともに、単元を貫くパフォーマンス課題を設定し、学習課題を解決する見通しをもつことができる。
- (2) **準備** 教科書、地図帳、提示資料、ワークシート、学びナビ、ICT端末
- (3) **展開**

○学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (C) 努力を要する生徒への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て
【本時の学習課題】 アフリカ州について特徴をつかみ学習課題を立てよう		
1 前橋市における南スーダン選手団と市民の交流の様子を示し、身近なところでアフリカとのつながりがあることを確認する。 2 日常生活で使用されているものからアフリカとのつながりを感じ、イメージを広げる。 ・こんなにもたくさんのものがアフリカとつながっているのだな。 ・予想以上にアフリカのものがあつたな。意外だな。	7分	・アフリカ州についてイメージがあまり豊かではないため、身近なところでアフリカ州の国との交流や支援があることを伝えたり、日常生活で使用されている品物を提示したりすることでアフリカ州への関心が高まるようにする。
3 カード1の資料（鉱山資源の分布や、輸出品について）を読み取り、アフリカはどのような地域か考察する。 ・いろいろな資源がとれるのだな。 ・知っている農作物もアフリカから来ている。		・対象となる資料が多いため、読み取る資料については、あらかじめ教師が精選しておく。カードについては、ICT端末を使って、各自で見ることができるようにする。 ・資料の読み取りについて、生徒が資料の意味

るのだな。つながりがあるな。 ・レアメタルを売って豊かになっているのかな。 ・西アジアの国々は資源を売って豊かになっていたな。アフリカもそうなのかな。 4 カード2の資料（平均寿命や栄養度、就学率など）から分かることを読み取りアフリカはどのような地域か考察する。 ・平均寿命が日本よりも短いな。 ・飢餓状態のところがたくさんあるな。貧しいのかな。 ・乳児死亡率が高いな。貧しいのかな。	15分	を理解できるよう、大型画面で画面共有し、読み取りのポイントを示す。 （C）机間支援を行いながら、読み取りにつまづいている生徒に対して、個別に支援する。 （C）読み取ったことや考察したことを板書にて整理し、全体で共有することで、思考を補助する。
5 二つのカードから考察したことを基に疑問に感じたことなどをグループで話し合い、共有する。 ・たくさん輸出しているのにどうして貧しいのかな。 ・アフリカ州の中でも場所によって違うのかな。 ・資源がたくさんとれるのに、それを使っていないのかな。	8分	◎単元を貫くパフォーマンス課題を設定する際に必要な状況を示す資料となるので二つの資料を読み取った結果を比較できるよう、生徒の意見を整理する。 ・班で話し合った結果を ICT端末を使い、班の代表者に入力させ、共有する。
<単元を貫くパフォーマンス課題の前段に迫る問いの確認> アフリカ州はなぜ貧困の問題を抱えているのだろう		
*前橋市と南スーダンの交流が支援であったことに気付く ・前橋市は、南スーダンの選手を支援していたのだな。 6 これまでの場面をパフォーマンス課題の前段と結び付けて振り返り、提案の方法を検討する ・提案する方法は何か良いかな。 ・意見文や、スピーチはどうか。	20分	・南スーダンの状況を示す資料を提示し、貧困状態であることに気付かせる。 ◎単元を貫く学習課題としてのパフォーマンス課題の設定につなげるために、これまで学習した場面と、パフォーマンス課題の関連付けを行う。 ・どのような形でまとめるか【 】内を検討する。 ・（ ）内は7の学習活動で生徒と共に検討し、共有後、全体像を示す。
[単元を貫く学習課題] オリンピックに向けて南スーダンの選手団が前橋市で合宿を行い、前橋市の住民を中心に、群馬県民とも交流をしていました。そこで、アフリカについて知らなかったあなたがアフリカについて調べてみると、生活で使っているものがアフリカと結び付いていることを知り、より身近に感じることができました。しかし、同時にアフリカ州が貧困問題に直面していることを知りました。前橋市での取組を知ったことをきっかけに自分たちにも何かできることはないだろうかと考えました。(貧困によってどのような問題が起きているのか、何が原因となっているのか、それを解決するためには、どのようなことを行なっていけばよいかをまとめ)できるだけ多くの人が関心を持って協力してくれるように【意見文を作成】提案してください。		
7 貧困問題の解決に向けて意見文を作成するに当たりどのようなことを調べ、考		◎パフォーマンス課題を基に、追究の視点となる問いを検討させ、共有することで、今後の

える必要があるのか検討し、意見交換した後全体共有し、単元を貫くパフォーマンス課題を完成させる。 ・いつから貧困で困っているのかな。 ・なぜ、アフリカは貧困なのだろうか調べる必要があるな。理由は何かな。 ・植民地だったことは何か関係しているのかな。 ・どのような原因があるのかな。 ・貧しいとどのような影響があるのかな。	学習の見通しをもたせる。 (C) 課題解決ステップアップシートを手掛かりに、追究の視点となる問いを検討させる。 ◎学びナビの左の欄の情報やワークシートを根拠としながら、全体共有した課題解決に迫る追究の視点となる問いを、学びナビに記入する。また、追究活動以前の課題解決についての考えを記入させることで、単元の始まりと終わりで自分の思考の変容が分かるようにさせる。
<課題解決に向けた追究の視点> () 内に入る文脈 何が原因となっているのか (なぜ貧困の問題が起きているのか)、どのような問題が起きているのか、どのようなことをしていけばよいのか	
<以下解決のための方策> ・募金とかに力を入るとよいのかな。 ・必要なものや足りないものを送ればよいのかな。 ・病院や工場を建てればよい。 ・何も思いつかないな。どうしたらよいのかな。	〔主体的に学習に取り組む態度〕 ◇資料から疑問をもち、単元を貫くパフォーマンス課題を設定する際や課題解決に向けての問いを立てる際に、自分なりの考えをもつことができています。(観察・ワークシート・学びナビ)

板書計画 [パフォーマンス課題や、提示する写真資料などについては、画面共有]



本時の展開（２／４）

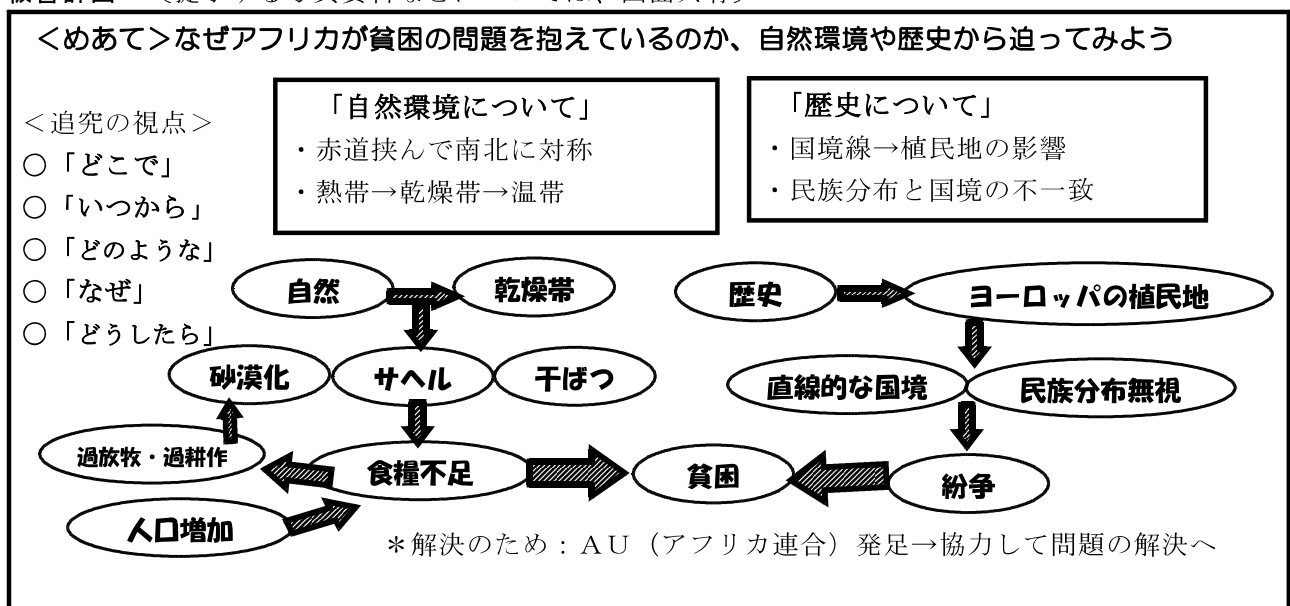
- (1) **ねらい** アフリカ州の自然環境の特色や、ヨーロッパとのつながりを資料から読み取り、理解するとともに、現在起きている貧困問題と関連付けて考察することができる。
- (2) **準備** 教科書、地図帳、提示資料、ワークシート、学びナビ、ICT端末
- (3) **展開**

○学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (C) 努力を要する生徒への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て
1 前回の学習を振り返り、追究の視点となる問いを確認する。 ・どのようなところで特に貧困の問題が深刻なのかな。自然環境は原因になっているかもしれない。 ・いつから貧困なのかな。植民地だったことと関係あるのかもしれない。	5分	・貧困問題が特に深刻な地域の写真資料と自然環境と歴史に関連する資料を提示し、関連付けて貧困である理由を予想させる。 ◎パフォーマンス課題を基に、追究の視点となる問いを確認し、本時の見通しをもたせる。
[本時の学習課題] なぜアフリカ州が貧困の問題を抱えているのか、自然環境や歴史から迫ってみよう		
2 自然環境について大観し、その特色をつかみ、貧困の問題が発生している地域と関連付けて理由を考察する。 ・赤道を挟んで南北対称に気候帯が表れるのだな。 ・雨が降る地域では農業ができそうだな。それほど困っていないかもしれない。 ・乾燥帯の地域は特に厳しい環境だな。食べるものも獲れないし、生活しにくそうだ。貧困の問題が発生しそうだ。	25分	・自然環境については、既習事項の気候帯と、カード3（干ばつと乾燥地域）の資料を関連付けて大観させる。 ・自然環境と貧困の要因となることを関連付けて考察させる。その際、追究の視点となる問いを意識させながらキーワードとして整理させる。 ・アフリカ州の国境線は直線的であるという既習事項と地図帳P44-④の植民地、⑤の言語分布と紛争との資料を関連付けて、問題点を考察させる。考察したことをキーワードとして整理させる。 (C) 机間支援を行いながら、読み取りにつまずいている生徒に対して個別に支援する。 (C) キーワードについては、生徒の発言を基に、板書して整理することで、思考を結び付けられるようにする。
3 ヨーロッパの植民地支配のなごりを資料から読み取り、紛争地域との関連を考察する。 ・ヨーロッパの植民地だったから今でも言葉や文化に影響があるのだな。 ・民族のまとまりを無視して国境線を引いたことが紛争につながっているのかもしれない。 ・紛争していたら、豊かになるのは難しいな。何か解決の方法はないのかな。		[知・技] ◇自然環境やヨーロッパ州とのつながりを資料から読み取り、地域的特色や課題を理解している。(ワークシート)
4 現在アフリカ州ではどのような取組が行われているのかを確認する。 ・課題の解決に向けて、アフリカ連合（A	10分	・アフリカ連合の存在とその結成の目的について理解させる。

U) という組織が作られて、団結して問題の解決をしようとしているのだな。		
5 自然環境と、歴史的なつながりから貧困につながる原因として考えられることや解決策を学びナビにまとめる。 ・自然環境から見ると、サヘルの辺りは砂漠化で作物も獲れないから貧困につながる。歴史から見ると、植民地時代の影響で民族分布が無視されて国境線が引かれた結果、紛争などにつながり、貧困の原因になりそうだ。理由は一つではなさそうだ。どのような解決策があるかな。 ・ほかにも原因があるのかな、更に貧困の原因を探る必要があるな。	10分	〔思・判・表〕 ・自然環境の特色や歴史的背景から貧困の要因を多面的・多角的に考察している。(ワークシート・学びナビ) ◎学びナビの左の欄の情報やワークシートを根拠としながら、1単位時間のまとめを右の欄に記入させる。 ◎自分の本時の学びを課題解決ステップアップシートと照らし合わせて、確認させる。

課題解決ステップアップシートを基に判断		
STEP 1	自然環境や植民地支配の影響から考えられる貧困の理由を資料から読み取り説明することができた。	
STEP 2	自然環境や植民地支配の影響から考えられる貧困の理由を、資料から読み取るだけでなく、現在のアフリカにおける取組について理解し、関連付けて説明することができた。	
STEP 3	自然環境や植民地支配の影響から考えられる貧困の理由を、資料から読み取るだけでなく、現在のアフリカにおける取組について理解し、課題解決に向けて自分なりの考えをまとめることができた。	
*この確認はあくまでも、生徒の学びがどの段階まで到達しているのかを確認するための指標である。教師は学びナビを見て、それに該当するかどうかを判断し足りない視点などがあれば、学びナビに書き込み、次の学びにつなげられるようにする。		

板書計画 [提示する写真資料などについては、画面共有]



本時の展開（3／4）

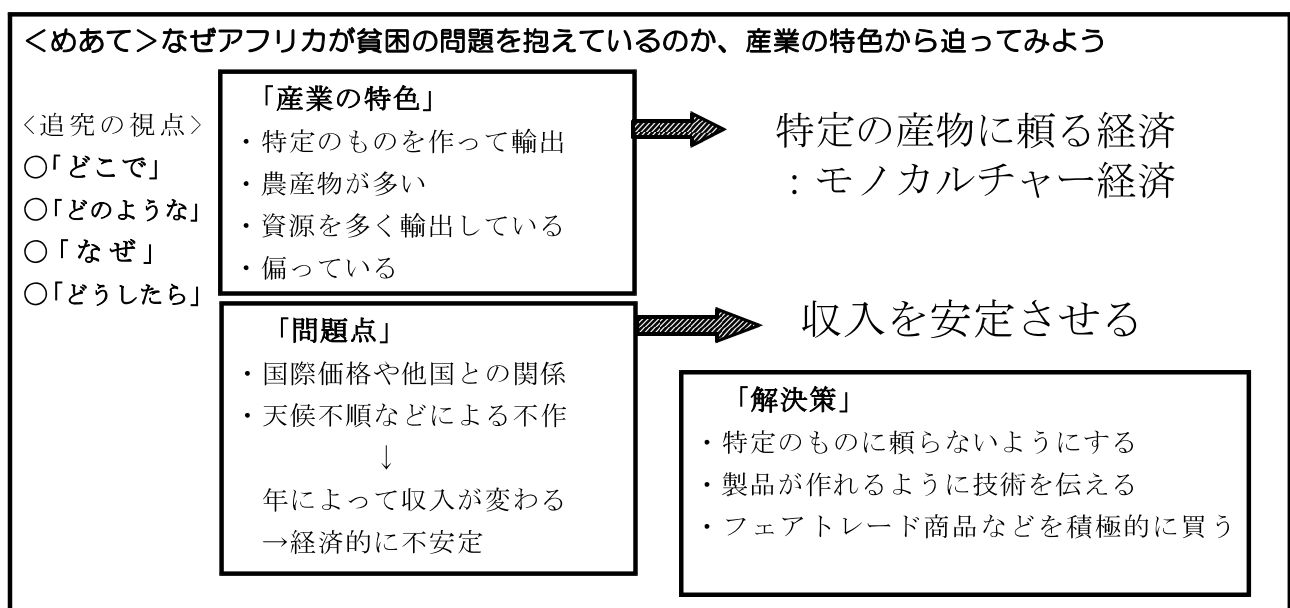
- (1) **ねらい** アフリカ州の産業の特色を資料から読み取り、理解するとともに、現在起きている貧困問題と関連付けて考察することができる。
- (2) **準備** 教科書、地図帳、提示資料、ワークシート、学びナビ、ICT端末
- (3) **展開**

○学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (C) 努力を要する生徒への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て
1 1時間目の学習を振り返り、追究の視点となる問いを確認する。 ・アフリカ州は資源がたくさんあるのにどうして貧困の問題が起きているのかな。 ・身近な生活で使われているものとの関わりがあるから、たくさん売れているはずだけど、どうして貧困の問題が起きているのかな。	5分	・1時間目の資源の分布や産業に関する資料を提示し、そこで見いだした疑問について想起させる。 ◎パフォーマンス課題を基に、追究の視点となる問いを確認し、本時の見通しをもたせる。
[本時の学習課題] なぜアフリカ州が貧困の問題を抱えているのか、産業の特色から迫ってみよう		
2 アフリカの国々の産業の特色を地図帳の資料から読み取る。 ・資源を輸出している国が多いな。 ・農作物を輸出している国が多いな。 ・輸出しているものに偏りがあるな。 ・このような経済は、モノカルチャー経済というのか。	7分	・教科書のカカオ農園の人の話に触れることで主に輸出向けのを栽培したり、採掘していることにも気付かせる。 [知・技] ◇モノカルチャー経済などの産業の特色や課題を資料から読み取り、理解している。 (ワークシート)
3 モノカルチャー経済に至った理由を前時の学習内容と結び付けて考察する。 ・植民地だったから輸出向けが多いのかもしれないな。 ・植民地支配の頃の影響が出ているのかもしれないな。	10分	◎学びナビを活用しながら、グループで話し合い、学習内容と結び付けて考察したことを共有させる。
4 特定の輸出品に頼ることで起こる問題点を資料を基に考察するとともに、アフリカ州の国々が豊かになるためにはどのようなことが必要かを考察する。 ・値段がこんなにも変わるのだな。収入が安定しないな。収入を安定させる必要があるな。 ・もし、その農作物が獲れなかったら、収入が得られないな。特定のものに頼らないようにしなければいけないな。 ・ほかの国のものの方が売れてしまったらどうなるのかな。収入が得られないな。	20分	・モノカルチャー経済の問題点を考察させ、グループで話し合い、考察したことをワークシートに記入させる。キーワードも考え、ICT端末を使い、思考を整理させる。 (C) 意見交換が滞っているグループについては、ヒントを与えることで思考を促す。 ・考察したことを全体共有することで、思考の広がりをもたせる。

5 産業の特色の視点から貧困につながる原因として考えられることを学びナビにまとめる。 ・貧困の問題の原因は、前回の学習も合わせるといろいろありそうだな。 ・産業の特色から見ると、モノカルチャー経済の国が多くて、収入が安定しないから貧困につながっているのだな。フェアトレード商品というものがあることを初めて知ったな。それを購入するという形で自分にもできることがありそうだな。 ・知らないことがたくさんあったな。いろいろ知ることも大切だな。	8分	〔思・判・表〕 産業の特色と貧困の要因を関連付けて考察している。(ワークシート・学びナビ) ◎学びナビの左の欄の情報やワークシートを根拠としながら、1単位時間のまとめを右の欄に記入させる。 ◎自分の本時の学びを課題解決ステップアップシートと照らし合わせて、確認させる。
---	----	---

課題解決ステップアップシートを基に判断 STEP 1 産業の特色から考えられる貧困の理由を資料から読み取り説明することができた。 STEP 2 産業の特色から考えられる貧困の理由を資料から読み取るだけではなく、現在のアフリカ諸国が豊かになるためにはどのような状況になるとよいかを説明することができた。 STEP 3 産業の特色から考えられる貧困の理由を資料から読み取るだけではなく、現在のアフリカ諸国が豊かになるためにはどのような状況になるとよいかを考え、フェアトレード商品の購入など、課題解決に向けて自分なりの考えをまとめることができた。 ＊この確認はあくまでも、生徒の学びがどの段階まで到達しているのかを確認するための指標である。教師は学びナビを見て、それに該当するかどうかを判断し足りない視点などがあれば、学びナビに書き込み、次の学びにつなげられるようにする。
--

板書計画 〔提示する写真資料などについては、画面共有〕



本時の展開（４／４）

- (1) **ねらい** アフリカ州に見られる地球的課題（貧困問題）の要因について地域の広がりや結び付きなどに着目してそれらの地域的な特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、意見文として表現することができる。
- (2) **準備** 教科書、地図帳、提示資料、ワークシート、学びナビ、ICT端末
- (3) **展開**

○学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (C) 努力を要する生徒への支援 ◇評価 ◎研究上の手立て
【本時の学習課題】 学びナビを活用し、意見文を完成させよう		
1 これまでの学習を振り返り、貧困の要因について確認をする。 ・モノカルチャー経済が影響していたな。 ・自然環境によって、食料などが獲れずに困っていたな。 ・植民地支配のなごりがあったな。 ・解決のための方法はまだ考えられていないな。どうしたらよいかな。 ・解決のために、今、どのようなことが行われているのかな。	5分	◎パフォーマンス課題を基に、意見文の作成の視点を確認し、本時の見通しをもたせる。 ◎学びナビを活用し、これまでの学習を振り返り、貧困の原因と問題点や課題を確認するとともに、解決のための方策をまだ十分検討していないことに気付かせる。
2 貧困による負の連鎖について考え、解決のためには、持続的な取組が必要であることを理解する。 ・食糧を支援するだけでは解決しないな。 ・貧困によって起こる問題はいろいろとつながっているな。 ・一つ解決しただけでは、終わらないな。 ・アフリカの人たちが自分たちでもできるようにならないといけないな。 ・自分たちできるようにするためには、いろいろな技術を伝える必要があるな。	10分	・貧困によって起こる負の連鎖について資料から考え、解決のためには、継続的な支援が必要であることに気付かせた上で、解決の方策を検討する活動につなげる。
3 現在行われている具体的な取組を参考に、どのような活動、支援を行うべきかを検討する。 ・その地域の農業を発展させるために、技術を伝えていく活動がよいと思う。 ・技術を理解するためにも、子供たちが学校に行って教育を受けられるようにするとよいと思う。 ・健康でないと働けないな。健康が保てるように医療支援をした方がよいと思う。 ・紛争が起きていたら、国が発展しない。紛争を解決するための活動が必要だと思う。	15分	・支援の事例を紹介し、それらを参考にしながら、選択・判断ができるようにする。 (C) 他者の意見を参考にして選択・判断を促すように促す。 ・ペアで意見交換をした後、全体共有をすることで、多面的・多角的な視点で考察できるようにする。

4 これまでの学習を振り返り、意見文を完成させる。	20分	◎ルーブリックを示し、意見文の完成への見通しをもたせる。 〔思・判・表〕 ◇アフリカ州に見られる地球的課題（貧困問題）の要因について地域の広がりや結び付きなどに着目してそれらの地域的な特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。（学びナビ・意見文） 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ◇アフリカ州についてよりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。（観察・学びナビ） ◎自分の書いた意見文と課題解決ステップアップシートを照らし合わせて自分の課題解決力を確認させる。
----------------------------------	------------	---

○意見文ルーブリック

< A >

アフリカ州の貧困問題について背景や要因を説明し、地域的特色を明らかにしながらどのように解決に向かうべきか考察したことを、具体的に提案できている。（B基準は満たしている）

< B >

アフリカ州の貧困問題について、資料から分かったことを基にして考え、どのように解決に向かうべきか考察し、提案できている。

< C >

アフリカ州の貧困問題について、アフリカ州の地域的特色と関連付けて提案できていない。

＜課題＞オリンピックに向けて南スーダンの選手団が前橋市で合宿を行い、前橋市の住民を中心に、群馬県民とも交流をしていました。そこで、アフリカについて知らなかったあなたがアフリカについて調べてみると、生活で使っているものがアフリカと結び付いていることを知り、より身近に感じることができました。しかし、同時にアフリカ州が貧困問題に直面していることを知りました。前橋市での取組を知ったことをきっかけに、自分たちにも何かできることはないだろうかと考えました。[]でできるだけ多くの人が関心をもって協力してくれるように（意見文を作成）提案してください。

この時間のめあて		STEP
		予想 OK NO
1 アフリカ州について特徴をつかみ学習課題を立てよう	「〇〇を追究してみよう」 「〇〇を考えてみよう」など 1 単位時間のめあてを記入させる。 →1 単位時間のゴールをイメージさせる	
2	課題解決のために必要な追究の視点に関わる問いを記入させる。 →導入部で生徒が見いだした追究の視点に関わる問いや追究の過程で見いだされた問いを記入。	
3	追究活動等で使用した思考の根拠となる資料を記入させる。 (生徒が思考のきっかけとなったと判断した資料を記入する)	1 2 3
4 学びナビを活用し意見文を作成しよう	課題解決ステップアップシートに照らし合わせて自分の学びのSTEPを確認することで、課題解決力の高まりを自覚させる。	1 2 3

1 単位時間のまとめ	＜追究していくこと＞ * 単元を貫くパフォーマンス課題に対して、生徒が検討した追究の視点となる問いを明確にし、共有する。 ＜原因の予想や解決のための考え＞ * 単元を終えたときに自分の思考の高まりや深まりを確認するために単元の導入段階での自分の考えを記入させる。
1	
2	左の欄に記入した視点などを基に思考した結果である自分の考えを書かせる。 文章表記、箇条書きどちらでもよい。また、矢印などを使って表現してもよい。 事実に基づいているかどうかについては、左の欄に記入した使った資料等を確認すればよい。根拠のない意見やまとめにならないように留意させる。
3	
4	＜意見文作成のためのメモ＞ 最後のまとめは意見文になることを意識させる。また、これまでの学習をつなぎ合わせていくイメージをもたせる。

<課題> オリンピックに向けて南スーダンの選手団が前橋市で合宿を行い、前橋市の住民を中心に、群馬県民とも交流をしています。そこで、アフリカについて知らなかったあなたがアフリカについて調べてみると、生活で使っているものがアフリカと結び付いていることを知り、より身近に感じることができました。しかし、同時にアフリカ州が貧困問題に直面していることを知りました。前橋市での取組を知ったことをきっかけに自分たちにも何かできることはないだろうかと考えました。[]でできるだけ多くの人が関心をもって協力してくれるように（意見文を作成）提案してください。

この時間のめあて	視点	使った資料	STEP
1 アフリカ州について特徴をつかみ学習課題を立てよう			予想 OK NO
2			1 2 3
3			1 2 3
4 学びナビを活用し意見文を作成しよう			1 2 3

1 単位時間のまとめ	
1	<追究していくこと> <原因の予想や解決のための考え>
2	
3	
4	<意見文作成のためのメモ>

意見文ルーブリック

＜課題＞オリンピックに向けて南スーダンの選手団が前橋市で合宿を行い、前橋市の住民を中心に、群馬県民とも交流をしていました。そこで、アフリカについて知らなかったあなたがアフリカについて調べてみると、生活で使っているものがアフリカと結び付いていることを知り、より身近に感じることができました。しかし、同時にアフリカ州が貧困問題に直面していることを知りました。前橋市での取り組みを知ったことをきっかけに自分たちにも何かできることはないだろうかと考えました。でできるだけ多くの人が関心をもって協力してくれるように（意見文を作成）提案してください。

段階	
A	アフリカ州の貧困問題について背景や要因を説明し、地域的特色を明らかにしながらどのように解決に向かうべきか考察したことを、具体的に提案できている。
B	アフリカ州の貧困問題について、資料から分かったことを基にして考え、どのように解決に向かうべきかを考察し、提案できている。
C	アフリカ州の貧困問題についてアフリカ州の地域的特色と関連付けて提案できている。
具体例	アフリカ州では、貧困の問題があり、それによって多くの課題があります。 ①人々の収入が安定せず、そのことによって十分な栄養を得ることができずに、乳児死亡率が高いなどの課題があります。 ②収入が安定しない原因の一つとして、経済が安定しないという問題があります。これは、モノカルチャー経済に頼る国が多いためです。 ③そこで、これらの国々がこの状態から脱出するために、工業化を進める必要があると私は考えます。そうすれば、安定した収入を現地の人が得られると考えるからです。 ☆しかし、工業化を進めるためには、知識や技術が必要です。それを身に付けるためには教育に力を入れることが大切です。工業化だけでなく、誰もが学べるような地域になる支援が必要だと私は思います。

左で示したルーブリックにおけるB評価については、「どこで、どのような問題が起きているのか」「なぜ貧困の問題が起きているか」「どのようにしていけばよいか」（どこで、どのような、なぜ、どのように）の条件を満たしているものとした。

具体例でいうと、赤字の部分で示した①貧困によって起きている問題、②貧困の原因、③貧困問題の解決に向けての提案を書いているので、B評価となる。

さらに、☆以降のように、Bの基準に加えて、工業化を進めるために必要なことを他の視点からも言及し、（事例でいうと、工業化を推進するに当たり、工業に関する視点だけではなく、教育の推進という視点）提案できているのでA評価とする。

＊なお、実践においては、A評価については、③の部分で、持続可能な視点が含まれているものもA評価とした。（例えば、工業化や、農業を進めるに当たって、現地の人々が続けていけるという内容が含まれるもの）